

ほんぷくじ じんこういけ 本福寺の人工池

所在地：淡路市 浦



周辺の景観にとけこむ水御堂



上空から望む水御堂
出典：一般社団法人淡路島観光協会HP



水蓮



水御堂へのアプローチ

本福寺は、京都の仁和寺の末寺で、平安時代後期に創建されたと伝えられる古刹です。

水御堂は、本福寺の新しい本堂で、日本を代表する建築家安藤忠雄氏の設計により建立されました。本堂は、約二千年前の古代ハスとして知られる大賀ハスや水蓮が咲く人工池の真下に、仏像が安置してあるというユニークな構造となっています。

本福寺の水御堂は、淡路島の古刹として、また、周辺の山並みや自然にとけこんだ新しい建築物として、周辺景観との調和が図られています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - ✓ 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - ✓ 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道東浦ICから県道31号線から、県道464号線へ。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図